令和５年度

定 期 総 会 資 料

令 和 ５ 年 ７ 月 ６ 日 （木）

東 京 都 立 中 央 図 書 館

（オンライン開催）

全国公共図書館協議会

次第

Ⅰ　総会

１　開会

２　会長挨拶

３　来賓挨拶

国立国会図書館長	吉永　元信　様
文部科学省総合教育政策局地域学習推進課長	黄地　吉隆　様
文化庁著作権課長	吉田　光成　様
公益社団法人日本図書館協会理事長	植松　貞夫　様

４　議長選出

５　議題

協議事項

（１）令和５・６年度　役員の選出（案）
（２）令和４年度事業報告について
（３）令和４年度決算について
（４）令和４年度会計監査報告について
（５）令和５年度事業計画（案）について
（６）令和５年度予算（案）について
（７）令和５年度以降の調査研究事業について
（８）令和５年度表彰について
（９）「全国読書グループ調査」についての協力依頼

報告事項

（１）図書館等公衆送信サービスに関する関係者協議会等の進捗状況について
（２）「資料デジタル化及び利用に係る関係者協議会」の動向について

Ⅱ　事例報告

内容　「本をすべての人に　～いわき市立図書館における障がい者サービスについて～」

報告者　いわき市立いわき総合図書館総務管理係　桑原　久美　様

協議（１）　令和５年度･６年度　役員の選出（案）

令和５年５月26日現在

No.	地区名	図書館名	職名	氏名	全公図役職名
1	北日本	秋田県立図書館	館長	菅原　敏紀	代表理事
2		北海道立図書館	館長	堀本　厚	理事
3		岩手県立図書館	館長	森本　晋也	理事
4		宮城県図書館	館長	青木　直之	理事
5	関東	静岡県立中央図書館	館長	柴　雅房	代表理事
6		東京都立中央図書館	館長	田中　愛子	理事
7		群馬県立図書館	館長	岸　亮	理事
8		千葉県立中央図書館	館長	宇井野　哲男	理事
9		茨城県立図書館	館長	小田部　修一	理事
10		山梨県立図書館	館長	金田一　秀穂	理事
11		栃木県立図書館	館長	中村　千浩	理事
12	東海・北陸	富山県立図書館	館長	中﨑　圭子	代表理事
13		三重県立図書館	館長	冨永　健太郎	理事
14		金沢市立玉川図書館	館長	安江　貴子	理事
15	近畿	大阪府立中央図書館	館長	吉本　馨	代表理事
16		大阪市立中央図書館	館長	西　徹	理事
17		兵庫県立図書館	館長	村上　元伸	理事
18		奈良県立図書情報館	館長	千田　稔	理事
19	中国	岡山県立図書館	館長	大西　治郎	代表理事
20		鳥取県立図書館	館長	小林　隆志	理事
21		広島県立図書館	館長	豊田　義政	理事
22	四国	高知県立図書館	館長	杉本　幸三	代表理事
23		香川県立図書館	館長	市原　誠	理事
24		愛媛県立図書館	館長	豊田　益実	理事
25	九州	鹿児島県立図書館	館長	東條　広光	代表理事
26		宮崎県立図書館	館長	平山　文春	理事
27		熊本県立図書館	館長	吉永　明彦	理事
28		沖縄県立図書館	館長	宮城　威	理事
29	客員	国立国会図書館	総務部主任参事	関根　美穂	客員理事
30	監事	千葉県立西部図書館	館長	赤沼　知里	監事
31		川口市立中央図書館	館長	高野　久徳	監事
32		大阪府立中之島図書館	館長	大賀　浩一	監事

協議（２）　令和４年度事業報告

Ⅰ　総会及び理事会等

１　総会

期日　令和４年６月29日（水）

場所　東京都立中央図書館（オンライン開催）

出席者　102名（ほか委任状提出者709名）

議題

○協議事項

（１）令和３年度事業報告について

（２）令和３年度決算について

（３）令和３年度会計監査報告について

（４）令和４年度事業計画（案）について

（５）令和４年度予算（案）について

（６）令和４年度表彰について

○報告事項

（１）著作権法31条改正に伴う公衆送信サービスに関する関係者協議会の進捗について

（２）文部科学省への要望書について

○事例報告

内容　「アキシマエンシス開館までの経緯と昭島市民図書館でのサービス」

報告者　昭島市教育委員会事務局生涯学習部アキシマエンシス管理課長　磯村　義人　様

２　第１回理事会

期日　令和４年５月27日（金）午後２時から午後４時まで

場所　東京都立中央図書館（オンライン開催）

出席者　27名（ほか委任状提出者１名）

議題

○協議事項

（１）令和３年度事業報告について

（２）令和３年度決算について

（３）令和３年度会計監査報告について

（４）令和４年度事業計画（案）について

（５）令和４年度予算（案）について

（６）令和４年度表彰について

（７）文部科学省への要望書案について

○報告事項

（１）著作権法31条改正に伴う公衆送信サービスに関する関係者協議会の進捗について

〇文部科学省による行政説明と意見交換

4　第２回理事会（書面開催）

期日　令和５年１月下旬～３月中旬

（１月25日開催通知送付、２月15日締切、３月16日結果送付）

議題

〇協議事項

令和５年度全国公共図書館協議会事業計画（案）

〇報告事項

（１）令和４年度全国公共図書館協議会調査研究事業について

（２）著作権法における図書館関係の権利制限の見直しについての動向

（３）「資料デジタル化及び利用に係る関係者協議会」の動向

〇聴取事項

（１）令和５年度以降の全国公共図書館協議会調査研究事業について

（２）令和５年度全国公共図書館協議会研究集会（講演会）について

5　図書館等による図書館資料のメール送信等に関する検討PT

第２回

期日　令和４年４月22日（金）午後２時から午後４時まで

場所　東京都立中央図書館（オンライン開催）

議事

（１）著作権法31条改正に伴う公衆送信サービスに関する関係者協議会の進捗について（報告）

（２）文部科学省提案を踏まえての全公図の要望（案）について

第３回

期日　令和４年５月12日（木）午前10時から正午まで

場所　東京都立中央図書館（オンライン開催）

議事

（１）図書館資料の公衆送信サービス実施に係る要望について

「図書館等による図書館資料のメール送信等に関する検討PT」を通じた確認を経て、令和４年５月27日（金）の理事会の承認を受けた「公衆送信サービス実施に係る諸施策についての要望書」を、令和４年

６月22日（水）に文部科学省に対して提出した。

Ⅱ　研究集会

研究集会に代わり、全国公共図書館協議会設立50周年記念事業として記念講演会を実施した。

期日　令和４年６月29日（水）
場所　東京都立中央図書館（オンライン開催）
出席者　158名
内容　「AI、DXが進展する社会環境と図書館」
講師　東京大学大学院工学系研究科教授　松尾豊氏
（司会）青山学院大学教育人間科学部教授　野末俊比古氏

Ⅲ　調査・研究事業及び情報活動等

１　調査研究事業

「公立図書館における読書バリアフリー」をテーマに令和３年度から引き続き、野口武悟氏（専修大学 教授）を助言者に迎え、関東地区の都県立図書館職員からなる編集委員を中心に、令和３年度に全国の公立図書館を対象に実施した実態調査の主な項目について分析し、報告書にまとめた。報告書は、都道府県立図書館・都道府県教育委員会等に配布するとともに、ホームページに掲載した。

２　情報活動

ニューズレター101号、102号を発行し、ホームページに掲載した。

Ⅳ　表彰

表彰規程により実施した。

表彰者　137名
（内訳）

図書館職員	101名
図書館長	２名
図書館協議会委員	34名

Ⅴ　その他

令和３年10月に設置された図書館等公衆送信サービスに関する関係者協議会の構成員として事務局参与、各分科会の構成員として事務局次長を派遣した。

協議（３）　令和４年度決算

1　収入の部　（単位:円）

科　目	予算額	収入済額	増減額	備　考
1 分 担 金	1,498,700	1,498,700	0	
2 雑 収 入	100	238	138	預金利子等
3 繰 越 金	1,953,931	1,953,931	0	
計	3,452,731	3,452,869	138	

2　支出の部　（単位:円）

科　目		当初予算額	支出済額	残　額	備　考	
1 会 議 費		20,000	312	19,688		
	(1)総 会 費	20,000	312	19,688		
	(2)理事会費	0	0	0		
2 事 業 費		1,915,000	1,759,940	155,060	50周年記念講演会講師謝礼	140,000
					総会及び講演会実施委託	299,690
					調査研究事業助言者謝礼	80,000
					調査研究事業調査票の集計委託	691,900
					調査研究事業報告書の印刷	548,350
3 表 彰 費		155,000	161,513	△ 6,513	表彰状印刷費	68,640
					筆耕料	70,829
					表彰状用丸筒代等	22,044
4 普 及 費		0	0	0		
5 諸支出金		0	0	0		
6 事務局費		210,000	46,731	163,269		
	(1)事 務 費	200,000	46,731	153,269	通信運搬費	32,948
					事務用消耗品費	13,783
	(2)職 員 費	10,000	0	10,000		
7 予 備 費		1,152,731	0	1,152,731		
計		3,452,731	1,968,496	1,484,235		

3　繰越額

収入済額	3,452,869
支出済額	1,968,496
差引繰越額	1,484,373

協議（４）　令和４年度会計監査報告

会　計　監　査　報　告

令和４年度全国公共図書館協議会の会計監査を行った結果、帳簿、預金通帳、証票等すべて正確に処理され、適正に収支されたことを認めます。

令和５年５月９日

監　事　千葉県立西部図書館長

赤沼 知里　印

会　計　監　査　報　告

令和４年度全国公共図書館協議会の会計監査を行った結果、帳簿、預金通帳、証票等すべて正確に処理され、適正に収支されたことを認めます。

令和 5 年 4 月 27 日

監　　事　　川口市立中央図書館長

高野久徳 印

会　計　監　査　報　告

令和４年度全国公共図書館協議会の会計監査を行った結果、帳簿、預金通帳、証票等すべて正確に処理され、適正に収支されたことを認めます。

令和 5 年 4 月 28 日

監　　事　　大阪府立中之島図書館長

大賀　浩一　　印

協議（５）　令和５年度事業計画（案）

Ⅰ　総会及び理事会等

１　総会

期日　令和５年７月６日（木）　午前10時～11時

場所　東京都立中央図書館（オンライン開催予定）

※総会後に、事例報告を予定（45分程度）

２　理事会

第１回　　令和５年５月26日（金）（オンライン開催）

第２回　　令和６年１月下旬～２月上旬　（書面開催）

Ⅱ　研究集会

期日　令和５年７月６日（木）　午後１時30分～３時

場所　東京都立中央図書館（オンライン開催予定）

内容　「公立図書館における読書バリアフリー」

講師　専修大学文学部教授　野口武悟氏

Ⅲ　調査研究事業及び情報活動等

１　調査研究事業

協議事項（７）にて別途協議する。

２　情報活動

ニューズレターを年２回発行する。

Ⅳ　表　　彰

表彰規程により実施する。

表彰者　　130名

（内訳）

図書館職員	105名
図書館長	３名
図書館協議会委員	22名

Ⅴ　その他

昨年度に引き続き、図書館等公衆送信サービスに関する関係者協議会の構成員として事務局参与、各分科会の構成員として事務局次長を派遣する。

協議（６）　令和５年度予算（案）

1　収入の部　（単位：円）

科　目	予　算　額	前年度予算額	増　減　額	説　　明
1 分担金	1,498,700	1,498,700	0	
2 雑収入	100	100	0	預金利子等
3 繰越金	1,484,373	1,953,931	△ 469,558	
計	2,983,173	3,452,731	△ 469,558	

２　支出の部　（単位：円）

科　目		予　算　額	前年度予算額	増　減　額	説　　明	
1 会議費		20,000	20,000	0		
	（1）総会費	20,000	20,000	0	資料印刷費	0
					消耗品費等	20,000
	（2）理事会費	0	0	0	理事会経費	0
2 事業費		1,045,000	1,915,000	△ 870,000	印刷製本費	0
					調査設計等委託費	500,000
					編集委員会等旅費	0
					動画撮影等委託費	400,000
					謝金	100,000
					講演記録反訳等	45,000
3 表彰費		165,000	155,000	10,000	表彰状印刷費	70,000
					表彰用筒等代金	30,000
					筆耕料等	65,000
4 普及費		0	0	0		
5 諸支出金		0	0	0		
6 事務局費		110,000	210,000	△ 100,000		
	（1）事務費	100,000	200,000	△ 100,000	通信運搬費	60,000
					事務用消耗品費	40,000
	（2）職員費	10,000	10,000	0	事務局旅費等	10,000
7 予備費		1,643,173	1,152,731	490,442		
計		2,983,173	3,452,731	△ 469,558		

協議（７）　令和５年度以降の調査研究事業について

１　調査研究事業の実施期間の見直しについて

現在、２か年にわたって１つのテーマを扱っていますが、令和５年度以降、３か年にわたって１つのテーマを扱い、各年の主な作業を以下のとおりとしたいと考えています。

・１年目：テーマの設定、他機関での類似調査の確認、調査・分析の方針決定、調査票設計
・２年目：調査・集計、各回答への疑義照会、単純集計データの精査、実態調査報告書作成
・３年目：実態調査の分析、紹介事例の選定、報告書作成、次期テーマ検討

なお、実施期間の見直し案については、令和４年度第２回理事会に諮り、すべての館から異議なしとの回答をいただいています。このたび、令和５年度の事業計画案をお諮りするとともに、本案の進め方について、ご了承いただきたく存じます。

【理由】

令和４年度の調査研究事業において、令和３年度実施の実態調査の分析作業を行うに当たりローデータを点検したところ、令和４年３月発行の『2021 年度（令和３年度）公立図書館における読書バリアフリーに関する実態調査報告書』p.18-19 に記載のデータに誤りがあることが判明しました。

質の高い調査及び結果の分析を実施するためには、事前にどのような分析をしたいかを設定するとともに、調査依頼の際に各館で回答にゆれが生じないような調査票を設計することが望ましいと考えます。しかし、現状、１年目は実質半年間で調査票の設計、調査依頼、報告書の作成を行っており、２年目の分析を見据えた調査票の設計や、各回答への疑義照会、単純集計データの精査、報告書印刷前の確認等に十分な時間をかけることは難しい状況となっています。また、令和３年度の調査依頼の際に、非常に短い期間で回答をお願いすることになり、この件に関し令和３年度の第２回理事会でもご意見を頂戴しました。

したがって、調査票の設計等に十分な期間を確保し、より有用な調査とするため、調査研究事業の３か年での実施としたいと考えます。

２　報告書印刷部数の見直しについて

現在、都道府県立図書館を通じて域内の市区町村立図書館（中心館）に報告書を配布いただいているところですが、報告書の印刷部数を見直し、原則として都道府県教育委員会、政令市教育委員会、都道府県立図書館への配布のみと変更したいと考えております。

ただし、印刷部数を見直した場合においても、蔵書として受け入れ希望のある域内の市区町村立図書館（中心館）へは配布ができるように、一定数の余剰部数は確保する予定です。

なお、報告書印刷部数の見直し案については、令和４年度第２回理事会に諮りました。皆様から頂いたご意見を踏まえ、余剰部数の確保について、留意します。

【理由】

報告書は、インターネット上で全文を公開しているため、必要な場合はそちらからダウンロードし、印刷していただくことが可能です。

また、印刷用紙等の価格の上昇も鑑み、ペーパーレスを進めたいと考えます。

３　令和５年度開始の調査研究事業のテーマ

「公立図書館における電子図書館サービス」をテーマに、令和５、６、７年度の３か年で調査研究を行います。初年度である令和５年度は、福島幸宏氏（慶應義塾大学文学部 准教授（有期）、東京大学大学院情報学環 客員准教授）を助言者とし、調査・分析の方針決定、調査票設計を行います。

協議（８）令和５年度表彰

１　都道府県別表彰者数

NO	都道府県名	人数	NO	都道府県名	人数	NO	都道府県名	人数
1	北海道	2	17	石　川	1	33	岡　山	5
2	青　森	0	18	福　井	2	34	広　島	5
3	岩　手	1	19	山　梨	4	35	山　口	2
4	宮　城	3	20	長　野	4	36	徳　島	0
5	秋　田	1	21	岐　阜	2	37	香　川	1
6	山　形	1	22	静　岡	6	38	愛　媛	4
7	福　島	1	23	愛　知	4	39	高　知	0
8	茨　城	0	24	三　重	0	40	福　岡	0
9	栃　木	1	25	滋　賀	5	41	佐　賀	1
10	群　馬	5	26	京　都	2	42	長　崎	1
11	埼　玉	12	27	大　阪	14	43	熊　本	0
12	千　葉	7	28	兵　庫	2	44	大　分	1
13	東　京	9	29	奈　良	3	45	宮　崎	0
14	神奈川	6	30	和歌山	0	46	鹿児島	0
15	新　潟	6	31	鳥　取	2	47	沖　縄	0
16	富　山	3	32	島　根	1			

２　表彰者総数　　　130 名

（内訳）　図書館職員　105 名

図書館長　3 名

図書館協議会委員　22 名

図書館職員：表彰規程第2条第1項の１及び２（内規第2号（1）及び（3））又は４に該当するもの

図書館長：表彰規程第2条第１項の２（内規第2号（2））に該当するもの

図書館協議会委員：表彰規程第2条第１項の３に該当するもの

令和５年度全国公共図書館協議会表彰候補者名簿

No.	都道府県名		氏　名	図　書　館　名	区分
1	北海道	2	宮　本　浩	北海道立図書館	職員
2			山　本　明　子	清水町図書館	職員
3	岩手県	1	嘉　村　明　美	岩泉町立図書館	委員
4	宮城県	3	成　田　静　香	仙台市太白図書館	職員
5			高　橋　京　子	仙台市泉図書館	職員
6			村　松　久　美　子	仙台市泉図書館	職員
7	秋田県	1	長　尾　理　可　子	秋田市立中央図書館明徳館	職員
8	山形県	1	松　浦　幸　子	鶴岡市立図書館	職員
9	福島県	1	籠　田　ま　き　子	小野町ふるさと文化の館	職員
10	栃木県	1	船　田　均	真岡市立図書館	館長
11	群馬県	5	加　藤　律　子	高崎市立中央図書館	職員
12			杉　原　浩　子	高崎市立中央図書館	職員
13			唐　澤　京　子	高崎市立中央図書館	職員
14			柿　沼　正　博	千代田町立山屋記念図書館	委員
15			福　田　敏　世	千代田町立山屋記念図書館	委員
16	埼玉県	12	野　村　明　子	さいたま市立中央図書館	職員
17			古　川　耕　司	さいたま市立北浦和図書館	職員
18			正　能　直　子	さいたま市立春野図書館	職員
19			赤　松　茂	さいたま市立岩槻図書館	職員
20			泉　井　浩　幸	川口市立中央図書館	職員
21			清　水　智　恵	川口市立中央図書館	職員
22			鈴　木　千　雅　子	川口市立鳩ヶ谷図書館	職員
23			中　島　清　治	草加市立中央図書館	委員
24			宮　澤　ゆ　か　り	戸田市立中央図書館	職員
25			八　木　橋　悦　子	戸田市立中央図書館	職員
26			塩　﨑　勲	久喜市立中央図書館	委員
27			杉　水　奈　緒　子	三芳町立図書館	職員
28	千葉県	7	佐　藤　宗　子	千葉県立中央図書館	委員
29			竹　内　比　呂　也	千葉県立中央図書館	委員
30			杉　山　裕　子	千葉県立東部図書館	職員
31			濵　田　尚　子	成田市立図書館	職員
32			野　村　豊	成田市立図書館	委員
33			坂　元　真　理　子	浦安市立中央図書館	職員
34			阿　部　祐　子	四街道市立図書館	職員
35	東京都	9	北　川　友　紀　子	東京都立中央図書館	職員
36			栗　村　公　子	東京都立中央図書館	職員
37			重　野　明　子	東京都立中央図書館	職員

令和５年度全国公共図書館協議会表彰候補者名簿

No.	都道府県名	氏　名	図　書　館　名	区分
38		長谷川　和美	東京都立中央図書館	職員
39		増田　加奈子	東京都立多摩図書館	職員
40		遠藤　浩一	目黒区立八雲中央図書館	職員
41		尾関　和子	北区立中央図書館	職員
42		堀江　紀子	練馬区立光が丘図書館	職員
43		荻野　実知子	東大和市立中央図書館	職員
44	神奈川県 6	稲木　美由紀	神奈川県立川崎図書館	職員
45		琴寄　紀子	横浜市鶴見図書館	職員
46		田高　桂子	横浜市中央図書館	職員
47		高原　理津子	横浜市港南図書館	職員
48		小山　亜紀子	横浜市緑図書館	職員
49		川内　直美	横浜市緑図書館	職員
50	新潟県 6	吉田　恭子	新潟市立中央図書館	職員
51		石田　泉	新潟市立白根図書館	職員
52		真柄　美和	新潟市立坂井輪図書館	職員
53		渡邉　誠介	長岡市立中央図書館	委員
54		小池　精子	加茂市立図書館	職員
55		田村　五月	聖籠町立図書館	職員
56	富山県 3	窪田　美恵子	富山県立図書館	職員
57		間片　千春	富山県立図書館	職員
58		中川　美穂	南砺市立福野図書館	職員
59	石川県 1	吉道　悦子	石川県立図書館	委員
60	福井県 2	南場　恭子	福井市立図書館	委員
61		渡辺　弘子	あわら市芦原図書館	職員
62	山梨県 4	笠井　ミキ子	山梨県立図書館	職員
63		中込　和寿	山梨県立図書館	職員
64		石原　みゆき	山梨県立図書館	職員
65		矢吹　一美	南アルプス市立図書館	職員
66	長野県 4	町田　真弓	県立長野図書館	職員
67		内山　伯子	上田市立上田図書館	職員
68		小林　順子	上田市立上田図書館	職員
69		大洞　静香	高森町立図書館	職員
70	岐阜県 2	加藤　陽子	岐阜市立図書館	職員
71		鈴木　由美子	羽島市立図書館	職員
72	静岡県 6	渡邉　友美	静岡市立清水中央図書館	職員
73		野村　貴子	富士宮市立中央図書館	職員
74		勝亦　晃子	富士宮市立中央図書館	職員

令和５年度全国公共図書館協議会表彰候補者名簿

№.	都道府県名		氏　名	図　書　館　名	区分
75			星　野　　裕　美	富士宮市立芝川図書館	職員
76			平　野　　義　久	磐田市立福田図書館	職員
77			神　戸　　美　紀	清水町立図書館	職員
78	愛知県	4	濵　本　　市　惠	津島市立図書館	職員
79			山　田　　久	小牧市中央図書館	職員
80			杉　山　　毅	尾張旭市立図書館	職員
81			坂　友　美	蟹江町図書館	職員
82	滋賀県	5	脇　坂　　さ　お　り	滋賀県立図書館	職員
83			伊　藤　　陽　子	滋賀県立図書館	職員
84			伊　藤　　直　美	長浜市立長浜図書館	職員
85			林　　弥　生	長浜市立長浜図書館	職員
86			加　納　　き　よ　子	湖南市立甲西図書館	職員
87	京都府	2	延　末　　裕　子	京都市北図書館	職員
88			髙　見　　華　江	京都市南図書館	職員
89	大阪府	14	小　橋　　弘　美	大阪市立中央図書館	職員
90			濱　田　　仁　美	大阪市立中央図書館	職員
91			金　澤　　愛　弥　子	大阪市立港図書館	職員
92			庄　野　　清　美	大阪市立西淀川図書館	職員
93			小　笠　原　　智　香	大阪市立西成図書館	職員
94			門　脇　　未　夏	堺市立中央図書館	職員
95			輔　信　　美　加	堺市立中央図書館	職員
96			近　江　　陽　子	堺市立中央図書館堺市駅前分館	職員
97			眞　鍋　　和　子	堺市立西図書館	職員
98			垣　下　　千　里	堺市立南図書館栂分館	職員
99			田　中　　千　鶴　子	堺市立美原図書館	職員
100			松　浦　　明　美	八尾市立山本図書館	職員
101			宮　原　　真　里	八尾市立志紀図書館	職員
102			加　藤　　勝　美	豊能町立図書館	委員
103	兵庫県	2	青　田　　律　子	姫路市立城内図書館	職員
104			梶　原　　美　紀	姫路市立城内図書館	職員
105	奈良県	3	松　村　　順　子	奈良県立図書情報館	職員
106			中　野　　靖　治	大和郡山市立図書館	館長
107			古　田　　澄　子	宇陀市立中央図書館	職員
108	鳥取県	2	野　沢　　敦	鳥取県立図書館	職員
109			渡　邉　　眞　子	米子市立図書館	委員
110	島根県	1	大　野　　浩	島根県立図書館	職員
111	岡山県	5	鳥　越　　明　美	岡山県立図書館	職員

令和５年度全国公共図書館協議会表彰候補者名簿

№.	都道府県名	氏　名	図　書　館　名	区分
112		貝　原　　博　子	岡山県立図書館	委員
113		宮　野　　正　司	岡山県立図書館	委員
114		深　井　正	新見市立哲西図書館	館長
115		大　西　　映　子	新見市立中央図書館	委員
116	広島県　5	今　野　　敦　子	広島市立中央図書館	職員
117		沖　本　　奈　緒　美	広島市立東区図書館	職員
118		松　葉　佐　　真　奈　美	広島市立東区図書館	職員
119		松　井　　玲　子	広島市立南区図書館	職員
120		成　本　　典　子	広島市立安芸区図書館	職員
121	山口県　2	大　窪　　正　行	山口県立山口図書館	委員
122		新　須　　真　一	岩国市中央図書館	職員
123	香川県　1	藤　沢　　幸　応	香川県立図書館	職員
124	愛媛県　4	齋　藤　　桂　子	愛媛県立図書館	職員
125		渡　邉　　純　子	今治市立波方図書館	職員
126		大　野　　千　代　美	内子町図書情報館	委員
127		楠　﨑　　倭　子	大洲市立図書館	委員
128	佐賀県　1	重　富　峻	鹿島市民図書館	委員
129	長崎県　1	田　川　　美　智　代	大村市立図書館	委員
130	大分県　1	手　嶋　　秀　法	国東市図書館	委員

協議（9）　「全国読書グループ調査」についての協力依頼

　公益社団法人読書推進運動協議会から、別紙のとおり「全国読書グループ調査」への協力依頼があった。
　このことについて、受諾する。

2023年5月12日

全国公共図書館協議会
会 長　　田 中　　愛 子　　様

〒101－0051
東京都千代田区神田神保町1-32
出版クラブビル6F
公益社団法人　読書推進運動協議会
会 長　　野　間　省　伸

「全国読書グループ調査」についてご協力お願いの件

謹啓
貴協議会ますますご隆昌のこととお慶び申しあげます。平素は当協議会の事業に対し格別のご支援をいただき、厚くお礼申しあげます。

さて、このたび当協議会では、「全国読書グループ調査」を企画、その結果をとりまとめ、調査報告書として「全国読書グループ総覧(2023年度版)を作成することとなりました。つきましては、公務ご多端のところまことに恐縮ですが、貴協議会のご賛同をいただき、調査の完璧を期したく存じますので、ご協力をお願い申しあげる次第でございます。

わが国の読書グループの結成促進とその育成強化の運動が、全国の各公共図書館をはじめ関係各方面のご努力によって全国にくまなく行きわたり、世界有数の読書普及活動を形成しておりますことは、まことにご同慶にたえないところです。

当協議会では貴協議会のご協力を得て、全国で結成され活動している読書グループについて1971年を第1回として以降、1978年、1983年、1989年、1993年、1998年、2003年、2008年、2013年、そして2018年に第10回の現況調査を実施いたしました。

前回調査以来、5年が経過しており、また、この5年間は新型コロナウイルス感染症の影響も大きく、相当の変化があることが予想されます。今回も全国の公共図書館や公民館に登録されているもの、あるいは聞き取りその他の方法で把握されているグループなどの現況を明らかにして、今後の読書普及活動の展開に役立たせたいとの所存でございます。

2023年度の調査につきましては、8月下旬以降に各図書館へ調査票をお送りし、ご記入いただいた調査票を10月以降に回収、その後集計し、「全国読書グループ総覧　2023年度版」として刊行いたします。総覧は、各公共図書館へお送りいたします。

なお、具体的事務処理については、当協議会で実施いたします。

なにとぞお力添えのほどをお願い申しあげます。

謹白